



副園長日記

R3.7.2

毎朝、玄関で園長と一緒に子どもたちのお迎えをしています。保護者のみなさんと一緒に、にこにこしながら駆け足でやってくる姿にたくさんの元気をもらいます。「いってきます」の挨拶では、手をパチンと合わせる子、ぎゅっと抱きついて充電する子、園門の向こうに姿が見えなくなるまで手をふる子などさまざまです。お子様のことを笑顔で見守っておられる様子を見ながら、自分はどうだったかなと振り返ることもあります。



私が出産後に仕事に復帰したのは、子どもが10ヶ月の時でした。朝、まだ眠い子どもに無理矢理ご飯を食べさせて、保育園に連れて行きます。保育園に着いたら、泣くんです。しがみつく子どもを無理矢理引きはがして保育園の先生に頼んで仕事に行きました。夕方になると、時計を見ながらあと10分、あと5分って仕事をこなし、大慌てて迎えに行きます。家に帰れば、山のような洗濯物。洗濯機を回して、ご飯をつくって、食べさせて、お風呂に入れて、次の日の準備をして、……。夫も手伝ってくれていました。でもなんだかわからないけれど、私がやらなきゃって思っていました。ずっと母乳で育てたこともあってか、「この子を守れるのは私だけ。この子を育てるのは私なんだ。私がいなきゃ、この子は生きていけない。」と思い込んでいたみたいです。毎日、くたくたを通り越して、ぼろぼろです。

そんな頃です。保育園の提出物が遅れたり、着替えを準備するのを忘れていたりして、保育園に行っては「すみません、すみません。」とあやまってばかりいました。ある日の迎えのときも、先生から「着替えがなかったの、園のを貸しました。お母さん、がんばって。」と言われたんです。グサッとささりました。家について、玄関で荷物を下ろしたら、涙がぼろぼろ

出てきて止まりません。「私、いいお母さんじゃない。がんばってるのに。まだがんばらないといけないの。」って、子どもを抱いたまましばらく玄関で泣きました。当時を思い出すと、今でも胸がキューンとしめつけられます。育児本を一生懸命読んで、子どものために身の回りのものを手作りして、食事でも子どもの栄養を考えて添加物の少ない材料を選んで一つ一つ丁寧につくって。子どもと一緒に寝てしまうから、朝4時頃から起きて仕事して。そりゃ限界です。きっと保育園の先生はあまりにもぼろぼろの私を励ましてくれたんだと思います。でも、限界の私にとっては、それがグサッとささっちゃって。

泣いて、泣いて、ぼろぼろ泣いて。でも、そうしたら、気持ちがずっと楽になりました。一人じゃできないんなら、「助けて」って言うおうって。

「手伝って」って言うてもいいんだって。「ありがとう」って言うて、まかせたらいいんだって。うまくできることばかりではないので、いろいろな人に手伝ってもらいながら子育てするようになって、少しずつ笑顔でいられる余裕も出てきました。

お子さんのことを精一杯愛して100%の愛情を注ぐことはもちろんすてきです。でも、100人の人から1%ずつ愛情をもらって、100%の愛情を注がれるのもすてきだと思いませんか。子どもは、いつかは親の元を巣立っていきます。巣立つまでに、子どもの味方になってくれる人、子どもに愛情をそそいでくれる人をたくさん見つけてあげることも親としてできることではないでしょうか。

子育ては大変です。つらいです。不安です。でも、それ以上に楽しいです。わくわくします。幸せになります。周りのみんなの手を借りて、どうぞ、笑顔でお過ごしください。

困ったらいつでもお話を聞きますのでお気軽に附属幼稚園の職員に話しかけてください。降園後の園では、よく我が子の子育ての話で盛り上がっています。誰かに話すすとすっきりとして、元気がもらえます。一緒に子育てを楽しみましょう。

